

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	とまり木幌別		
○保護者評価実施期間	2026年2月20日 ~ 2026年2月24日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年2月20日 ~ 2026年2月24日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部の専門家の力を借りて、普段は体験機会が少ない運動系活動や創作系活動の機会を提供している。	方針としての個別支援計画に対応した活動実施案としての個別療育計画を策定し、これを職員全員が共有して療育に取り組んでいる。	職員のOJT 新しい職員のトレーニングとしてOJTの実施と振り返りを行い、職員のスキルアップに取り組む
2	約50㎡の広さがある軽運動に対応できる部屋があるので、利用児童全員で取り組める軽運動系活動(ドッジボール、大縄飛びなど)が実施できる。 この機会を他者との関わり方や共同作業などの振る舞いを観察して、SSTと連携した般化確認を行っている。	1人1人の児童に対するSSTとしての課題を設定し、自由時間、団体遊び、運動療育、調理体験などの活動の際にSSTとしての課題の状況確認を行い、必要に応じた指導の実施を行う準備を進めている。	マニュアル整備 作業手順、留意点などをマニュアルとして整備する。 昨年はこちらを小冊子として製本化した。

3	独自の業務管理システムを運用し、業務管理の生産性改善を行っている。 療育に寄与するコンテンツをデータベース化して、職員の自主研修の機会を整備している。	利用児童1人1人に対して「自分が頑張っていること」、「得意な事」、「良いところ」を聞き取り、とまり木での活動で上記の「本人の強み」が見られるときに「褒める」、「喜ぶ」などの声掛けをする	日次の会議として、当日の活動予定の確認、留意点の共有と翌日の活動予定（時間割）への意見交換を現場職員全員で行っている。
---	--	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 児童への一貫した姿勢での取り組み 利用児童への声掛けによる指導に一貫性が保てなかったケースが見られた。 来年度はこれを第1課題として取り組みたい。	事業所の方針を明確に示せていなかった。	全職員での意見交換の場で事業所方針を明確に示し、忌憚のない意見交換を行い、方針を集約する。
2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務配分の適正化 特定職員に業務が集中してしまい、他の職員との業務配分の問題があった。	<ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル化の遅れ 業務の引き渡しを円滑に行う為のマニュアル作成が後手に回ってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ■ マニュアル作成の時間確保 日次の業務計画に現在の担当業務のマニュアル作成の為の時間を設ける。 マニュアルの様式（テンプレート）を提供して、マニュアルの作成時間を短縮する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修や訓練に充当する時間を十分に確保できなかった ・他事業所の見学やセミナー受講などの時間を十分に確保できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日常業務の整理（フォーマット化）不足 日々発生する事象に振り回されることが散見された。 とまり木としての対応方針が徹底できていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共通認識（理解）を強化する ・職員全員が問題認識を共有する話し合いを行う。 ・とまり木としての行動規範を策定して、習熟すべき作法を明確にする。